

麗澤大プレゼンコンテスト 3/6 最優秀賞に都立五日市高校 5. 発表

麗澤大学は11日、同大が人材育成の柱として取り組む「グローバル」のあり方について考え、意見を発信するプレゼンテーションコンテストをオンライン開催した。国際学部が新学部として一昨年4月に開設されたことから企画され、同学部生が中心となり、新型コロナウイルス対策を徹底しながら企画から運営までを行った。

全国の高校1～2年生が対象で、20校48組の応募があった。事前審査で8校が選ばれ、この日オンラインで最終審査が行われた。

テーマは『日本の「当たり前」と世界をつないで、何ができるか』。テーマの中で、参加者は「SDGs（持続可能な開発目標）」「日本の伝統文化を今に生かす」「ポストコロナ社会」の中から1つを選んで、日本語か英語でプレゼンテーションを行った。

最優秀賞は、東京都立五日市高校▷優秀賞は、三田国際学園高校、順天高校、埼玉県立草加南高校▷国際学部生賞は、白百合学園高校一が選ばれた。

野林靖彦・国際学部長は「プレゼンテーションを通して学んだことが、今後の高校生活やその後のステージでの学びにつながることを期待したい」と述べた。